

景況感調査「沖縄点気」 ～ 2012年12月調査～

～ 67点でやや好調 観光、建設関連がけん引。観光は領土関連の影響は最小限～

今回の12月調査では、前回9月調査に比べ2点高い67点となり、引き続き合格点の60点を超える結果となった。今年度は外国人観光客が過去最高の40万人を超える見通しで、建設は民間と公共ともに好調であることから、周辺の消費活動にも好影響を与えている。

関連分野別動向

観光関連 9月67点→12月66点

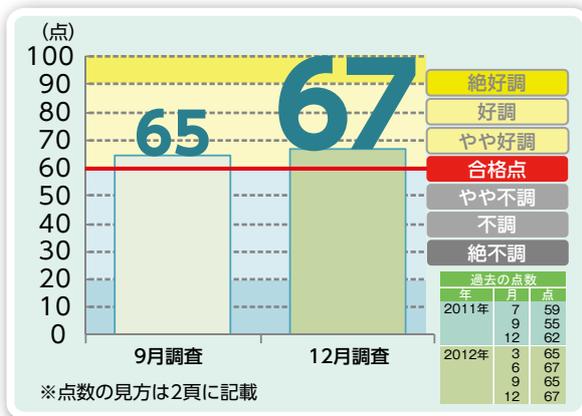
台風の影響があったものの、観光関連は概ね堅調に推移した。外国人観光客は今年度、史上最高の40万人を超える見通しだ。尖閣諸島関連の影響により、中国本土や香港から観光客は減少したものの、沖縄-台湾間の就航便増加により、台湾からの観光客が増加。国内客はLCC就航や年末年始の連休効果で今後も集客が期待できそうだ。

建設関連 9月66点→12月72点

戸建住宅建設、マンション建設、公共工事など増加しており好調に推移している。特に、公共工事は秋口からの受注案件が増加しており、資材や人手不足状態にある請負業者もある。民間・公共工事ともに年度末まで好調な状況は続きそうだ。

食品関連 9月61点→12月65点

小売店やコンビニのPB商品の売上が順調で堅



調に推移している。観光客向けの土産物販売も好調で、売上単価の上昇も見られるようだ。一方で農産物については、台風の影響により柑橘類などに影響がみられる。

消費・サービス関連 9月65点→12月66点

冬物の衣料品や食材の売れ行きが好調で県民消費は底堅い。エコカー減税終了により客足が減少した自動車販売店がある一方、軽自動車へのシフトの動きもみられる。

沖縄点気とは

経済指標評価、県内企業30社程度へのヒアリング調査、社会情勢評価など、独自の手法により、それぞれ100点満点で評価し、加重平均することにより沖縄点気を算出。



経済指標評価

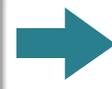


	9月調査	12月調査
経済指標総合評価	65点	69点
観光関連	70点	67点
建設関連	63点	73点
食品関連	60点	60点
消費・サービス関連	63点	70点

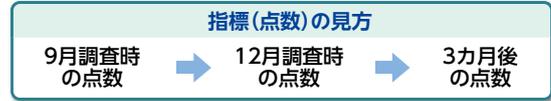
ヒアリング評価

観光関連は台風や尖閣諸島関連などの影響があったが、入域観光客数、売上ともに好調を維持。建設関連は秋口から公共工事発注件数が増加傾向にある。食品関連では、消費者の節約志向による購買単価の下落が目立つ。サービス関連では、自動車購入時のエコカー補助金終了による客足の鈍化や購入検討車種が普通車から軽自動車に移行するなどの傾向が見られるようだ。

63点
(9月調査)



65点
(12月調査)



	9月調査	12月調査	3カ月後
ヒアリング総合評価	63点	65点	66点
観光関連	63点	63点	63点
建設関連	65点	69点	71点
食品関連	59点	64点	66点
消費・サービス関連	64点	64点	62点

※2012年9月調査時の点数が“-”の事業所は、前回調査非対応先

観光関連

「ホテル」 60点→ 65点 →60点	予約ベースでは前年比増が見込まれていたが、台風によるキャンセルが影響し、前年並みの利益となった。業界では、ビーチ隣接の好立地のホテルも価格を下げているため、価格競争に参入せざるを得ない状況。設備投資により付加価値をつけていきたいと考える。
「ホテル」 60点→ 70点 →70点	大規模イベント等の効果から団体客も入り11月からの宿泊客が前年を上回った結果、全体としては良い結果となっている。年末年始の大型連休もあり、平日の宿泊が見込みを下回る傾向が続いている。2月以降は、回復の兆しがある個人客の動向に期待がかかる。
「ホテル」 63点→ 57点 →65点	台風襲来による影響は少なかった。修学旅行客の獲得に苦戦している。大手ホテルの参入や民泊推進によるホテル宿泊の減少が大きな要因だ。年末年始は比較的最長い連休となるため、予約が好調。小規模の団体の受入も増加している。
「旅行会社」 一点→ 60点 →70点	WEBでのホテル予約、レンタカー予約は増加傾向が続いている。フリーペーパーへの掲載店舗数が減少していたが、現在は持ち直しつつある。LCCの拡大により個人旅行客の増加が見込まれているが、年末年始の予約数は伸び悩んでいる。
「旅行会社」 70点→ 70点 →70点	台湾向け路線数の増加により、海外客は順調に増加している。年末年始の予約状況は前年並み。2月の旧正月の予約状況は比較的好調。向こう3カ月は売上増を見込んでいる。中国本土からの問合せがみられるようになってきており、中国人観光客数の回復に期待している。
「旅行会社」 一点→ 58点 →63点	国内客は前年並みの取扱があるが、海外客については尖閣諸島関連による中国客減少の影響が大きい。今後の展望としては、国内市場は、羽田空港のD滑走路開設による沖縄路線の増加、海外市場では尖閣諸島関連の収束が鍵になると思われる。
「交通」 70点→ 65点 →50点	予約段階では前年を上回る予約があったものの、台風によるキャンセルが響き前年並みの売上となってしまった。年明けの予約状況も芳しくなく、売上が2割程度減少する予想だ。一方で、定期観光バス部門が好調に推移しており、今後の動向に期待したい。
「レンタカー」 55点→ 70点 →70点	WEBでの個人客の需要が堅調で、売上は前年より10%増と好調を維持している。全体に占める割合はまだ1割程度だが今後も伸びてくると予想される。年末年始から2月まで予約は好調に推移している。今後の見通しとしては、LCC増便による個人客の増加も期待される。
「リゾートウェディング」 一点→ 57点 →55点	当社で式を挙げるカップルの約9割は本土からの客だ。残りの1割を県内と海外で占めている。海外客はまだ割合としては少ないが、国内客の減少に反比例する形で市場が成長している。誘客PRの効果も出始めており、チャペル建設に着手したところだ。
「リゾートウェディング」 一点→ 60点 →60点	円高傾向が続き海外挙式の割安感もあったため、国内客は減少した。これに対し海外客は、香港を中心に増加し、国内客減少分を相殺したかたちとなっている。海外客は、円高に関係なく件数が伸びており、今後もその状況は続きそうだ。

建設関連

「建設資材」 70点→ 73点 →78点	学校や団地などの耐震補強工事や建替え工事の受注が増加しており、この状況は年度明けまで続きそうだ。それに伴い足場用資材の需要も活発化してきており、足場の資材および足場を組む人手とも確保が難しくなってきている。
「建設資材」 60点→ 65点 →65点	秋口から学校や公共施設の工事が増加している。年度の前半は売上が落ち込んでいたが、後半になり持ち直しの傾向がみられる。昨年に比べ公共工事は減少しているが、総じて売上増加が期待できそうだ。
「建設」 60点→ 60点 →60点	手持ちの案件の多くが終了時期に差しかかり、次の事業展開に向けて思案中。今期の売上は、ほぼ例年並みとなっている。公共工事が少ないとの報道はあるが、入札する機会が多い。ただし、落札の可否が不透明なため、民間向け工事に力を入れている。

【建設】 60点→55点→60点	最近完成したマンションには若い家族だけでなく、年配の夫婦が入居するケースもみられる。夫婦2人には広くなりすぎた一戸建てを引き払ってマンションに入居した夫婦や、子どもと同じマンションに住むために入居する夫婦など、これまでと違った購入パターンがみられる。
【マンション】 60点→65点→70点	最近完売したマンションには、本土の客がセカンドハウスとして購入するケースもみられた。客層は会社の役員クラス。最近ではネット環境が充実しているため、基本的な暮らしは沖縄、必要な時は本社近くのマンションを利用する、というような使い方をしている。
【住宅】 85点→90点→95点	戸建住宅だけでなくアパート建設も増えており、一戸当たりの受注単価が上昇している。消費税増税を見越した駆け込み需要が予想される。戸建てだけでなく、アパートなどの集合住宅にもその傾向が見え始めてきた。
【アパート】 66点→70点→70点	高い入居率を維持しており、物件不足の状態にある。具志川に、他社を含めて新築物件の入居率が低い地区がある。これまであまり付き合いのなかった会社の物件紹介の依頼もあるほどだ。最近の新築物件は地域による価格差はあまりないため、割高感があるのかもしれない。
【不動産】 一点→70点→70点	賃貸物件の動きは前年同程度。売買物件に関して、土地・建物とも動きが活発だ。特に軍用地主などの富裕層が他の収益物件を探すケースが増加している。政権交代による景気対策をうけた、土地取引の活発化に期待したい。

食品関連

【食品製造】 63点→55点→70点	通常12月は忘年会やギフト関連販売で最も売上が伸びる時期だが、出足が鈍かった。飲食店も週末はある程度の客は入るが、平日の客入りが年よりもだいぶ少ないように感じる。選挙が重なったこともあろうと思うが、景気があまり良くないことの表れかもしれない。
【食品製造】 一点→85点→90点	売上は前年同期比で増加。店舗ごとでは国際通りや空港での売上が順調に推移している。平均客単価も上昇傾向にあり、現在は3,000～3,500円となっている。1年前から発売している商品が人気。空港では1日に100ケースを販売することもある。
【食品製造】 70点→70点→70点	海づくり大会など例年以上にイベントが多かったため、入域観光客数も増加し、売上は好調。修学旅行を海外から振替えるケースも多く、国際通りなどの店舗における売れ行きも堅調に推移している。本土スーパーでの「沖縄フェア」も売上増加につながった。
【食品製造】 40点→50点→60点	同業他社との競合が激しくなり、売上は前年比で低下している。12月から発売した新商品の動きがいい。例年1～2月は売上が落ちる時期だが、年明けには北海道で沖縄フェア、先日はマカオのスーパーで商品販売をスタートさせたため、今後は期待している。
【食品製造】 60点→60点→60点	お歳暮のギフト商戦が例年より早めにスタートしているため、小売業者への納品時期が早まっている。小売業者の10～11月期の売上は例年に比べ低かったのか、ギフト商戦で取り返そうとの考えからか、早めにスタートさせているようだ。
【食品製造】 60点→60点→60点	コンビニPB商品の製造販売が好調に推移している。スーパー向けの売上は前年並み。スーパーに関して主な購買層である主婦層の節約志向が続いているため、特売が増えており、卸価格も通常に比べ下落している状態となっている。
【漁業】 60点→55点→60点	台風の影響により10月の水揚げ量が前年比30%の減少となったため、9～12月期では15%の減少であった。また年末の需要増の時期にもかかわらずマグロの水揚げ量が少なく、取引価格が高値止まりの常態が続いている。
【農業】 60点→80点→60点	甘しょの収穫が昨年よりも好調となっており、売上も増加している。現在収穫している甘しょは3～5月に植え付けため、夏の台風の影響は少なかった。一方、現在収穫時期にある柑橘類は台風の影響もあり、前年に比べ収穫量が減少している。

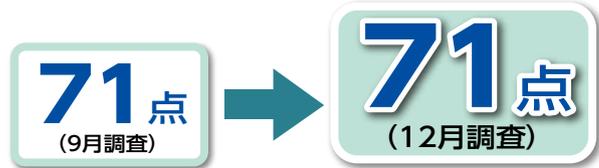
消費・サービス関連

【外食】 75点→65点→70点	台風の影響もあり食材価格の変動が大きかったが、国際通りに面している観光客向けの飲食店の売上が好調で10%程度増加している。団体旅行客は増加したが、客単価はやや減少した。一方、ショッピングセンター内の店舗の売上は横ばい状態。
【小売】 50点→55点→60点	台風の影響や、競合店の新規出店などにより客足は減少したが、食品は単価を下げて購入点数を増やすことで、売上を確保。衣料品は冬物が順調。クリスマスケーキは限定品が既に予約完売状態となり、おせちも料理も年々売上が増加している。
【エステ・スパ】 60点→60点→55点	売上は前年同程度だが、計画値との比較では10%程度低い状況。リピーターの来店数減少や物販を含めた客単価が従来に比べ2,000円程度低くなっている。紙媒体からの集客効果が低下しており、広告戦略の見直しを検討しているところだ。
【IT】 80点→75点→70点	大口のリプレイス案件により、売上は昨年比20%増。新規案件に比べリプレイスは利益率が高い。既存クライアントは観光地土産店など観光関連の事業者が多く、年度末に向けて観光産業への一括交付金が投入されることを見越した案件が出始めている状況。
【IT】 60点→60点→60点	本土および県内大手企業向けの大型案件の受注が増えており、年度末には当初見込んでいた通りの売上が達成できそうだ。県内の業界の動きとしては、人手不足だが景気は厳しい状況。公的案件の受注により現状を維持している印象を受ける。

「中古車販売」 —点→60点→60点	9月のエコカー補助金終了後は客足が鈍っている。メーカーが自前補助金を出しているが、消費者からすると国の補助金が終了したことは事実で、購買意欲の低下が客足に反映されているとみている。中古車フェア等の活用で来店数の減少をカバーしていく。
「中古車販売」 60点→60点→60点	元々エコカー補助金に対する消費者の反応が鈍く、補助金終了後の反動減はなく例年並みの売上を維持。メーカーによる自前の補助金が販売に寄与しているとみられる。また、買い替え対象を普通車から軽自動車へ変更する動きがみられる。
「自動車販売」 60点→75点→60点	ハイブリッド車を含めた新型車の販売が好調で前年同時期比で20%強売上増。ただし、直近はエコカー補助金の終了により客足が伸び悩んでおり、年度末に向けて台数は伸びにくいとみられるが昨年度よりはややプラスとなる見込み。

社会情勢評価

今年度、外国人観光客数は過去最高の40万人を超える見通し。国内でのLCC就航とあわせて観光関連業は堅調に推移する模様。大型の補正予算と一括交付金による公共事業の発注増への期待がかかる。食品関連は県民の消費が旺盛な一方で、諸コストの高騰で一層の企業努力が必要な状況が続く。消費関連は、エコカー補助金終了に伴う自動車販売の落ち込みがしばらく続きそうだ。



社会情勢総合評価	9月調査	12月調査		加算減算項目
	71点	71点	3カ月後	
観光関連	69点	71点	63点	8点
建設関連	74点	77点	71点	8点
食品関連	68点	70点	66点	4点
消費・サービス関連	70点	66点	62点	4点

※ヒアリング調査における三カ月後の見通しに、今後の社会情勢を弊社にて加味し、加算減算したものの

観光関連 加算減算点 +8点

<p>●プラス要因</p> <ol style="list-style-type: none"> 円安による観光客数の増加 LCC就航・路線増加による観光客増加への期待 	<p>●マイナス要因</p> <ol style="list-style-type: none"> 依然続く尖閣諸島関連の影響 ホテル客室の供給過剰と価格競争の激化 消費単価の減少 観光産業事業者の低待遇問題
--	--

建設関連 加算減算点 +8点

<p>●プラス要因</p> <ol style="list-style-type: none"> マンション・一戸建て住宅の堅調な需要 補正予算執行による公共事業の拡大 太陽光パネル需要拡大 消費税増税を見越した駆込み需要の増加 住宅ローン金利の引き下げ 	<p>●マイナス要因</p> <ol style="list-style-type: none"> 供給過剰な建設業者数 型枠等の人工不足と賃金高騰 本土資本のアパート供給による市場の混乱
--	---

食品関連 加算減算点 +4点

<p>●プラス要因</p> <ol style="list-style-type: none"> 堅調な個人消費 プロ野球キャンプなど観光客増への期待 	<p>●マイナス要因</p> <ol style="list-style-type: none"> 原材料、エネルギー価格高騰への懸念 秋口の台風による、今年前半収穫予定作物への悪影響 4月の労働契約法改正に向けた対応の必要性
---	--

消費・サービス関連 加算減算点 +4点

<p>●プラス要因</p> <ol style="list-style-type: none"> 小売店舗の開業やリニューアルに伴う全体的な売上の増加 観光客の消費は好調に推移 新規求人数の13カ月連続増加 一括交付金投入によるIT関連業の受注増加への期待 	<p>●マイナス要因</p> <ol style="list-style-type: none"> 中国人観光客の減少による消費の減少 世界的な生産コスト上昇に伴う販売価格の上昇の可能性 エコカー補助金終了により購買意欲の低下
--	--